

第 55 回理事会議事録

1. 日 時：2019 年 4 月 26 日（金）午後 18 時 30 分～20 時 40 分
2. 場 所：東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者：【理事 11 名】 細田博之、鳩山勝郎、浅越ことみ、久保公人、
ロバート・ゲラー、齋藤陽子、清水康裕、寺本直志、
橋本公二、山田和彦、吉田正
【欠席 2 名】 伊藤直彦、古川京司
【監事 2 名】 成田秀則、正村祐一
【事務局 4 名】 高野英樹事務局長、大政哲人国際交流事業部長、
仲村篤志競技会事業部長、清水映樹参与
(理事現在数：13 名、定足数 7 名、本人出席 11 名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 54 回理事会議事録の承認について
議事録案を一部修正の上承認した。

第 2 号議案 正会員の申込について
以下の 1 名の会友より提出された入会申請について審議を行い、入会を承認した。
高野英樹（会員番号 134774）推薦者：ロバート・ゲラー、大政哲人

第 3 号議案 会員資格の喪失について
以下の会員 1 名の会費が 3 年間未納のため、定款第 11 条による会員資格喪失の手続きについて審議を行い、これを承認した。
萩原年子（会員番号 69386）

第 4 号議案 2018 年度事業報告書および決算報告書について
2018 年度の事業報告書および決算報告書が提出された。
事業報告書については鳩山会長代行より 4 月の企画委員会で最終調整を行ったものであるとの説明があった。
決算報告書については 4 月 22 日に会計監査人である新日本有限責任監査法人および監事 2 名の監査報告書が提出され、監事より問題ない旨説明があった。
検討の結果 2018 年度事業報告書および決算報告書の内容を承認し、第 8 回会員総会に付議することを決議した。

2019年度の会計監査人を従来の新日本有限責任監査法人から公認会計士齋藤健氏の事務所へ変更する件について監事より提案がなされた。検討の結果、齋藤健氏を会計検査人に選任する件を第8回会員総会に付議することとした。

第5号議案 第8回会員総会の収集について（資料添付）

下記の要領で第8回公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟会員総会の招集を決議した。

日時：2019年5月25日（土）午前10時より

場所：東京都新宿区四谷一丁目13番地 虎ノ門実業会館四谷ビル2F
四谷ブリッジセンター

- 議案：1. 2018年度の事業報告および決算報告の承認について
2. 2019年度の事業計画および収支予算の報告について
3. 会計監査人の選任について

第6号議案 理事による利益相反取引の承認について

事務局より理事による利益相反取引一覧が提出された。

2018年度実績

理事名	現職	取引の相手方	取引額 (千円)	取引内容	取引形態
齋藤陽子	大船ブリッジセンター 理事長	大船ブリッジセンター	14,119	会費、公認料、商品販売	受取
			585	助成	支払
寺本直志	渋谷ブリッジセンター 代表	渋谷ブリッジセンター	12,216	会費、公認料、商品販売	受取
			818	会場賃借、助成	支払
		寺本直志	60	ユース講師料	支払

2019年度予定

理事名	現職	取引の相手方	取引額 (千円)	取引内容	取引形態
齋藤陽子	大船ブリッジセンター 理事長	大船ブリッジセンター	14,500	会費、公認料、商品販売	受取
			600	助成	支払
寺本直志	渋谷ブリッジセンター 代表	渋谷ブリッジセンター	12,500	会費、公認料、商品販売	受取
			850	会場賃借、助成	支払
		寺本直志	60	ユース講師料	支払

検討の結果、上記の2018年度実績および2019年度予定の利益相反取引を承

認した。

第7号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より4月10日開催の企画委員会について報告があった。横浜カップにおけるJTOSの動作については、2年後の横浜カップでの再発防止に向けてネットワークが切れた後でも機能の回復に信頼がおけるようJTOS開発者サイドと協議を始めたところであり、JTOSの次のバージョンアップに合わせて1年以内に目途をつける予定で進めている。JCBLの各委員会、WGなどの構成員の一覧表を作成し6月の理事会に報告する。

吉田企画委員長より正会員の過去10年の人数推移について報告された。

2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より4月10日開催のセンター協議委員会について報告があった。

消費税の引き上げへの対応の件については、連盟主催競技会のナショナルおよびリジョナルのうち、地方予選が行われているものについては、予選の参加料を全国共通とすることが望ましいとした。

センターから提出された2018年度事業報告書および2019年度の事業計画書を確認し、必要があれば対応を行っていくこととした。

3. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より2022年アジア競技大会の代表選抜について以下の提案があった。

2022年のアジア競技大会では、ブリッジ競技の採用が有力視されている。2020年に開催国である中国から2022年大会の実施競技、種目が発表される見込みであり、ブリッジ競技が採用された場合は2022年2月頃にJOCより日本のブリッジ競技の選手人数枠、種目の通知が行われる。従って、2022年大会の実施競技、種目、選手人数枠はまだ判明していないが、2018年に参加した際の経験を踏まえれば、2022年も2018年と同様にブリッジのチーム戦3種目のうちの2種目に参加することが考えられる。そのため、2019年、2020年に開催される合計3つの国際競技大会の成績を参考にし、2020年に2022年大会の派遣優先種目を決定し、2021年に同大会の代表候補選手の選抜を行うこととしたい。

検討の結果この提案を承認した。

4. 競技委員会

寺本競技委員長より次回の競技委員会は5月8日(水)に開催する旨報告があった。

5. 普及事業部

齋藤普及事業担当理事より以下の報告があった。

2018年度インストラクターズセミナーを開催し13名が参加した。今回は若い男性の参加が目立った。

齋藤普及事業担当理事より2019年4月5～11日に行われた第23回APBF選手権の結果が報告された。ヤングスター部門(21歳未満)では2位となり来年度の世界選手権の出場権を獲得した。

6. 競技会事業部

ゲラー競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

7. 国際交流事業部

吉田国際交流事業担当理事より2019年6月10日にシンガポールで開催されるAPBF Delegate's Meetingの出席者を山田理事および寺本理事の2名とする旨提案がありこれを承認した。

吉田国際交流事業部担当理事より2019年4月9～13日に上海で開催された2019 YEH BROS CUPの結果が報告された。派遣した日本代表選手5名の飛行機代、エントリー代、およびホテル代に対しては、検討の結果1人あたり13万円、5人合計で65万円の助成を行うこととした。

吉田国際交流事業部担当理事よりAPBFオープン、ウィメン、ミックス、シニア、世界ユースオープン選手権ジュニア、ヤングスターの各代表選手のドーピング対策として、スポーツファーマシストの佐藤愛美氏とドーピング確認料年間10万円(税別、200件まで)および顧問料年間5万円(税別)の契約を結ぶ旨提案があった。検討の結果これを承認した。

8. 法人・管理部

寺本法人・管理部担当理事より3月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表、および月次収支実績について報告があった。

寺本法人・管理部担当理事より会員・会友数の推移、新入会の人数と更新状況について報告があった。

鳩山会長代行より特定費用準備資金の国際大会開催準備金について以下の提案があった。

同準備金はこれまで2020年の国際大会の開催を目的として積み立ててきたが、2025年のAPBF選手権の日本開催を目的とすることに変更したい。積み立てについては2025年を目指して引き続き行っていきたい。

検討の結果この提案を承認した。

第8号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は2019年6月28日（金）午後6時30分に開催する。

当日配布資料：第4号議案「2018年度事業報告書」「2018年決算書」

第5号議案「第8回会員総会開催通知」

第7号議案「APBF 報告」

「国際交流事業部報告」

「会員会友の推移」「新入会の人数と更新状況」

2019年4月26日（2019年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第55回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 成田 秀則

監 事 正村 祐一